令和７年度　学校自己評価システムシート　（ さいたま市立 南浦和 小学校 ）　　学校番号　００９

【様式】

学校教育目標	よく学ぶ子　心豊かな子　たくましい子
目指す学校像	みんなの笑顔が輝く学校「ス（進んで学ぶ等）マ（まっすぐな心等）イ（一生懸命等）ル（ルールを守る等）みなみ」

重点目標	１　学習者一人ひとりが主体となる授業づくり ２　児童一人ひとりに寄り添った教育支援をするための共通理解・共通行動の実施 ３　地域に愛される「南小」の歴史をつなぐコミュニティ・スクールの実施 ４　安心安全な学校であり続けるための教育環境の整備 ５　教職員一人ひとりのよさを発揮できる職場づくりと働き方改革の推進

※重点目標は５つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度			
	A	ほぼ達成	（８割以上）
	B	概ね達成	（６割以上）
	C	変化の兆し	（４割以上）
	D	不十分	（４割未満）

	学校自己評価								学校運営協議会による評価
	年度目標				年度評価				実施日令和　年　月　日
	番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
学びの質の向上に関する取組	1	＜現状＞ ○昨年度の全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、算数ともに全国、市平均と比べ概ね良好な結果である。 ○協働的な学びについては、各学年で工夫した授業を行うことができている。 ＜課題＞ ○昨年度の全国学力・学習状況調査の結果分析から、国語の思考力・判断力・表現力等の「話すこと・聞くこと」について、算数は「変化と関係」についての問題に課題がある。 ○高学年になるにつれて習熟度の二極化が見られる教科（算数）がある。	個別最適な学習の実施	①各学年において「カリマネデザインマップ」見直しの時間を設定し、児童が学び方を選択することができる授業を行う。 ②毎週金曜日に「基礎学力パワーアップタイム」を実施し、スタディサプリ、ドリルパーク等を活用することを通して、児童が学習履歴を確認し、学習計画を設定する等主体的な学習をする。	①カリマネデザインマップを修正（教科横断的な学びの視点、時数の見直し等）し、児童が学び方を選択することができる授業を行うとともに、次年度の教育課程を作成することができたか。 ②学校評価「学習指導」「授業が分かりやすい」の項目を９割以上とすることができたか。				
			学習者が主体となる「学びのポイント（じ・し・ゃ・ク）」の授業づくり	③「学びの指標アンケート」及び学校独自アンケートを５月、１２月に実施し、１回目の結果考察、全国学力学習状況調査の振り返りを行う。 ④学校課題研修において、「学びのポイント（じ・し・ゃ・ク）」を意識した授業づくりを実践する。	③「学びの指標アンケート」及び学校独自アンケートにおいて１回目自校平均よりも向上することができたか。 ④指導訪問、要請訪問、校内授業研究会において、授業改善の視点や手立てを設定した授業を実践することができたか。				
子どもの発達や心のサポートに関する取組	2	＜現状＞ ○「心と生活のアンケート」において信頼自己がＤＥ評価の児童が１９％いる。 ○毎朝入力をしているおはようメーターの「おはよう気持ち」「おはよう体調」について「悪い」「とても悪い」を毎日選択する児童が一定数いる。 ＜課題＞ ○「その日のことはその日のうちに」を合言葉に全教職員が共通理解のもとで「報告・連絡・相談・確認・見届け」を丁寧、迅速に行う必要がある。	児童一人ひとりに寄り添った教育支援・教育相談体制の充実	①おはようメーターの集計を毎日確認し、「気持ち」「体調」について「悪い」「とても悪い」を選択した児童の見守り、声掛けを行う。 ②児童向けの「心と生活のアンケート面談」と「スマイル月間（本校独自の個人面談）を学期に１回ずつ実施したり、保護者向けの教育相談日を毎月設定したりし、児童が安心して生活できるようにする。	①学校自己評価に係るアンケートにおける「学校に行くのを楽しみにしている」「友達と仲よくしている」の項目で、児童の肯定的な評価が９割を超えたか。 ②学校自己評価に係るアンケートにおける「生徒指導」「教育相談」「組織運営」の項目で、肯定的な評価が保護者・教職員ともに９割を超えたか。				
			積極的な生徒指導を実現するための共通理解・共通行動の実施	③「心のサポート週報」による情報の共有や蓄積など、気になる児童の情報を共有する。 ④生徒指導対応をする際は、複数で聴き取りを行う、保護者と連携する、記録をとる等の共通行動をする。	③気になる児童について、「その日のうちに」情報を共有し、面談、保護者への連絡等ができたか。				
地域とともにある学校づくりに関する取組	3	＜現状＞ ○昨年度１５０周年事業を終え、地域に愛される学校であることを児童・教職員ともに実感することができている。 ○学校運営協議会において目指す児童の姿「チャレンジする心」を家庭、地域などに広めることができた。 ○昨年度の学校評価に係るアンケート「情報発信」「地域・保護者の願いに応えている」の項目で肯定的な評価が９割に届かなかった（８９％）。 ＜課題＞ ○校内ではあいさつができるが、登下校中は自分からあいさつをすることができない児童が多い。 ○授業公開等を行い、特色ある教育活動についてさらに発信する必要がある。	地域・家庭と連携したいつでもどこでもあいさつできる学校づくり	①あいさつチャレンジデーを複数回実施する。 ②児童が主体的にあいさつキャンペーン等を参画し、実施する。	①学校運営協議会において、本校の課題について熟議を行い、「あいさつチャレンジデー」が実施できたか。 ②児童会主催のあいさつキャンペーンを実施することができたか。				
			「スマイルみなみ」を地域全体で共有するための積極的な教育活動の公開	③各学年が実施する特別講師による授業（薬物乱用防止教室等）を積極的に公開する。 ④学校ブログを積極的に更新する。	③各学年が実施する特別授業やお話会等の公開可能な授業について学校だより、学年だよりで周知し、公開をすることができたか。 ④月に１回以上学校ホームページの更新及び、各学年各月１回以上のブログ更新を通して、児童の様子や学校の出来事等を保護者や地域の方に迅速に情報提供することができたか。				
教育環境の整備に関する取組	4	＜現状＞ ○校舎、各教室の空調設備等については、経年劣化はしているが、毎月の安全点検等を行い、不具合があった場合は、その都度対応している。 ＜課題＞ ○給食室に導入されているスチームコンベクションオーブンが一度も使用されていない。 ○屋上の防水、経年劣化による故障等が随所に見られ、その都度対応をしているが、根本的な修繕はできていない。	安心安全な学校施設の管理	①事務職員と予算状況確認を毎月１回以上実施し、予算の適正執行を実現する。 ②安全点検を確実に行うとともに、修理箇所があった場合の即日対応に努め、事故を未然に防ぐようにする。	①事務職員と予算状況確認を毎月１回以上実施し、適正な執行を実現することができたか。 ②安全点検を毎月実施するとともに、修理箇所があった場合の即日対応、職員集会等で周知し、危機意識を向上させられたか。				
			安心安全を目指す給食室管理と給食の提供	③給食室内の安全点検を毎日行い、故障があった場合は即日対応して、給食提供に支障がないように努める。 ④スチームコンベクションオーブンを使用した給食を提供する。	③栄養技師、事務職員と確認を行い、給食室内の設備等に故障があった場合に即日対応をすることができたか。 ④スチームコンベクションオーブンを使用した給食を年３回以上提供できたか。				
教職員のキャリア形成に関する取組	5	＜現状＞ ○５、６年生における教科担任制、３、４年生の一部教科担任制、１，２年生の交換授業により、担当教科の専門性の高い教材研究を行うことができている。 ○時間外在校等時間に個人差がある。 ○教職経験年数の浅い教職員が増えている。 ＜課題＞ ○全教職員が人事評価に基づき、自身の設定した目標、指導力向上に向けた研修、キャリアに応じた研修を実施していく必要がある。	教職員の適切な健康管理と働き方改革の推進	①学年ごとに月２回以上のノー残業デーを設定するとともに、１９時以降は学校に残って仕事をしないようにする。 ②一人で業務を抱えこまないよう、集中しないよう、主任がリーダーシップをとり、業務分担を図る。	①学年ごとに月２回以上のノー残業デーを設定し、見える化、声掛けを実施し、教職員の時間外在校等時間を月４５時間以内とすることができたか。 ②学校評価（教職員用）「働き方改革」の項目でＡＢ評価が９割以上の肯定的な回答が得られたか。				
			キャリアに応じた研修の推進	③校内における各種研修、年次研修に加えて、教職員それぞれの強みを生かした教科・領域等について研修を深めることができるよう、夏季休業中等、積極的に研修会に参加できるようにする。	③自身の設定した目標に向けて指導力向上に向けた研修を実施、研修会等に参加することができたか。				